

電気通信大学 平成21年度シラバス

授業科目名	社会学A		
英文授業科目名	Sociology A		
開講年度	2009年度	開講年次	1(2)年次
開講学期	前学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法	講義	単位数	2
科目区分	総合文化科目-人文・社会科学科目-		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	船戸 修一		
居室	非常勤講師		

公開E-Mail	授業関連Webページ
jinbunyoumu@bunka.uec.ac.jp	

【主題および達成目標】
<p>社会学は、私たちが生きる「現代社会」を分析していくうえで、有効な考え方や見方を提示してくれます。社会学Aでは、「現代社会」の諸問題、とりわけ「地域（農山村）」社会をとりまく諸問題をとりあげます。そもそも「地域（農山村）」は、近代日本の成立以来、都市住民の食料だけでなく、向都離村による都市・工業の労働力も供給してきました。また、最近ではリゾート地や観光地としても位置づけられています。そこで、この授業では都市・工業や都市住民との関係を意識しながら、「地域（農山村）」社会をとりまく諸問題を理解していきます。</p>

【前もって履修しておくべき科目】
ありません。

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
ありません。

【教科書等】
特に指定しません。授業では、毎回、プリントを配布します。再配布はしないのでプリントは各自で整理しておいてください。

【授業内容とその進め方】

具体的には、以下のようなテーマをとりあげる予定です。詳細は開講当日に説明します。

- (1) 「地域（農山村）」から現代日本が見えてくる
- (2) 高度経済成長（都市化）と戦後農政
- (3) 金の卵と過疎化
- (4) 限界集落の出現
- (5) 公害問題
- (6) 公共事業としての道路建設
- (7) 新幹線建設と地域振興
- (8) ダム建設と地域振興
- (9) 小泉改革と夕張市の財政破綻
- (10) リゾート開発の功罪
- (11) 地域主義・内発的發展
- (12) グリーンツーリズム
- (13) エコツーリズム
- (14) 世界遺産登録と地域振興
- (15) 歴史的町並み保存・農村景観保存

授業で取り上げるテーマに関するプリント資料を配付し、それを使いながら講義形式で授業を進めます。講義では、映画・ドキュメンタリー・マンガなどの視聴覚教材をなるべく使って、分かりやすい授業につとめたいと思います。さらに毎回ではありませんが、宿題として「小レポート」も課すときもあります。

【授業時間外の学習（予習・復習等）】

授業で適宜指示します。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

学期末に提出するレポート（400字×10枚以上）を主な成績評価の対象にします。また授業後の宿題として課する「小レポート」も成績評価に含めます。なお受講者の人数次第では、評価方法を変更することがあります。

【オフィスアワー：授業相談】

特に設けません。質問のある方は授業後に相談してください。

電気通信大学 平成21年度シラバス

【学生へのメッセージ】

現在、日本の「地域（農山村）」社会は切迫した問題を抱えています。こうした問題を理解することによって「地域（農山村）」に対する皆さんの考え方や自分たちのライフスタイルを問い直してみましよう。

【その他】

ありません。